

皇鈴園

★東秩父村大字大内沢 490

梅澤栄一さん、美子さん

村に秋が訪れると、みかん狩りが始まり、色鮮やかに実ったみかんがあたり一面を明るく染め上げます。甘く爽やかな香りがふわりと広がり、思わず深呼吸したくなります。いくつもあるみかん農園の中でも、今回は、毎年訪れてくれる方たちのために日々丹精を込めて栽培に励む「皇鈴園」を訪ね、お話を伺いました。

香りと想いを育てる皇鈴園

皇鈴園はもともと兄が営んでいましたが、兄が目の不自由を抱えるようになってからは私が手伝うようになり、現在は私の思いを受け継いで農園を守っています。みかんが実るまでには、草刈りや肥料の管理、害虫や病気から守るための消毒など、季節ごとに欠かせない作業がたくさんあります。収穫が終わった後も、木に残ったみかんをすべて取りきるなど、シーズンオフからはありと手が出まわります。みかん作りに携わって約10年。大変なことも多いですが、その分、驚きや学び、そして収穫の喜びはいつまで経っても尽きることがありません。

守りたい味、越えたい壁

毎年、皇鈴園のみかんを求めて、さまざまなお客さまが足を運んでくださいます。これからこの農園を長く守り続けていきたいとそう強く願う一方で、後継者がいないという現実が、その思いを難しくしています。自分以外に後を継ぐ人がおらず、最終的に農園を引き継いだのは私たち夫婦でした。「自分がやらなければ

ばこのみかん園が途絶えてしまう。もしかしたら次につないでくれる人を見つけられないかもしれない。」そんな不安を抱えながらも、できる限り続けていきたいという思いで、今日も畑に向き合っています。

今も昔も変わらないこと

皇鈴園に来てくださるお客さまの多くは、長年通ってくださるリピーターの方々です。

東秩父のみかんは昔、とてもすっぱかったのですが、近年は気候が暖かくなった影響もあり、甘さと酸味が調和した、食べやすくおいしいみかんができるようになりました。リピーターの中には、昔のすっぱいみかんから今の甘酸っぱいみかんまで味の変化をずっと見守り、「違いがよくわかる」と話してくださる方もいます。大変なことが多い中でもこうして頑張り続けられているのは、いつも来てくださるお客さまの「また来たい」という声があるからです。先の見えない状況ではありますが、みかんと共に歩んできたこの地域、この村で、来年も再来年も変わらず皆さまをお迎えできたらと思っています。



1



2

1・3_選別作業中
- 今年のみかんは豊作だ
2_みかん狩り日和 - 甘そう!



3